

第434号 2017年10月2日
弘前大学総務部総務広報課

イベントのお知らせ

テネシー大学マーチン校 (UTM) 協定校説明会のお知らせ

このたび、本学の協定校であるテネシー大学マーチン校 (UTM) 国際交流部長 エイミー・フェニングさんが来学し、UTMの留学に関する説明会およびアメリカのキャンパスライフ紹介を行います。UTMの留学担当者から直接お話を伺える貴重な機会ですので、留学に興味のある方は是非ご参加ください。

記

【日時】平成29年10月4日 (水) 12:00~12:40

【場所】イングリッシュ・ラウンジ (総合教育棟2階)

【講師】テネシー大学マーチン校
国際交流部長 Amy Fenning (エイミー・フェニング)さん

【内容】1. テネシー大学マーチン校の留学説明会
2. アメリカのキャンパスライフ紹介

【対象】学生・教職員、どなたでも参加できます。

- ・事前申し込みは不要です。
- ・講演はすべて英語で行われます。

【問い合わせ先】

弘前大学国際連携本部

TEL: 0172-39-3114

E-mail: jm3114@hirosaki-u.ac.jp

HP: <http://www.kokusai.hirosaki-u.ac.jp/>

被ばく医療総合研究所特別講演会開催のご案内

被ばく医療総合研究所では、公益財団法人放射線影響研究所 前理事長 大久保 利晃氏をお招きして下記のとおり特別講演会を開催いたします。

事前申し込みは不要ですので、この機会にぜひご参加ください。

皆様のご参加をお待ちしております。

協定校説明会
テネシー大学マーチン校
The University of Tennessee at Martin / UTM

このたび、テネシー大学マーチン校 (UTM) 国際交流部長 エイミー・フェニングさんが来学し、UTMの留学説明会およびアメリカのキャンパスライフ紹介を行います。留学に興味のある方は是非ご参加ください。

UTMの留学担当者から、直接お話を伺えるチャンスです。この機会にUTMのことを色々聞いてみましょう！

【日時】
2017年
10月4日 (水)
12:00~12:40

【場所】
イングリッシュ・ラウンジ
(総合教育棟2階)

Amy Fenning
Director, International Programs and Admissions

テネシー大学マーチン校 (UTM) は本学初の海外協定校で、1980年 (昭和55年) に大学間交流協定が締結されました。1985年 (昭和60年) からは教員交流プログラムが開始され、両大学の活発な教育研究交流が続けられています。UTMとの交流は学生の交換留学においても古い歴史を持ち、本学の多数の学生がUTMへ留学し、現在英語教員をはじめ、多くの分野で活躍しています。



- 学生、教職員、どなたでも参加できます。
- 事前の申し込みは不要です。
- すべて英語で行われます。

● 問い合わせ先
弘前大学国際連携本部
Tel: 0172-39-3114
E-mail: jm3114@hirosaki-u.ac.jp



記

- 【日 時】 平成29年10月13日（金）16時00分～17時30分
- 【会 場】 弘前大学医学部コミュニケーションセンター 2階大会議室
- 【講 師】 大久保 利晃 氏
(公益財団法人放射線影響研究所 前理事長)
- 【演 題】 「広島・長崎原爆被爆者の追跡調査について」

<講師プロフィール>

慶應義塾大学医学部卒業。医学博士。慶應義塾大学医学部衛生学・公衆衛生学助手・講師、自治医科大学医学部衛生学助教授を経て、産業医科大学産業生態科学研究所教授に就任、後に同学長を歴任。その後、公益財団法人放射線影響研究所理事長に就任、現在は同研究所顧問研究員として在籍。国際貢献では、WHO講師としてクアラルンプール、ILO委員会委員としてジュネーブ等へ赴く。2000年に日本医師会最高優功賞を受賞。

- 【対 象】 学生，教職員
- 【URL】 詳細は当研究所HPをご覧ください。
<http://www.irem.hirosaki-u.ac.jp/>
- 【お問合せ先】 弘前大学被ばく医療総合研究所事務室
電話：0172-39-5465
E-mail：hbk@hirosaki-u.ac.jp

メイン州立大学協定校説明会のお知らせ

このたび、本学の協定校であるメイン州立大学英語集中学習センター所長 クリス・メアーズ先生が来学し、メイン州立大学の紹介プレゼンテーションを行います。メイン州立大学の先生から直接お話を伺える貴重な機会ですので、留学に興味のある方は是非ご参加ください。

記

- 【日時】 平成29年10月18日（水） 12：00～12：30
- 【場所】 イングリッシュ・ラウンジ （総合教育棟2階）
- 【講師】 メイン州立大学 英語集中学習センター
所長 Chris Mares (クリス・メアーズ) 先生
- 【内容】 メイン州立大学の紹介プレゼンテーション
- 【対象】 学生・教職員、どなたでも参加できます。

・事前の申し込みは不要です。

・説明会はすべて英語で行われます。

【問い合わせ先】

弘前大学国際連携本部

TEL：0172-39-3114

E-mail：jm3114@hirosaki-u.ac.jp

HP：<http://www.kokusai.hirosaki-u.ac.jp/>

弘前大学大学院人文社会科学部 修士論文中間報告会（FD公開発表会）開催のお知らせ

・日時

2017年10月25日（水） 14：30～16：50（予定）

・会場

人文社会科学部棟4階 視聴覚ルーム

・内容

人文社会科学部（修士課程）の大学院生の研究発表

ー発表者と発表題目ー

小笠原 ふじこ（文化科学専攻2年・指導教員 日比野愛子）

「コミュニケーションワークショップという場の特性～インプロゲームを事例として～」

笹 浩樹（文化科学専攻2年・指導教員 荷見守義）

「楊慎と寫韻樓一明清における雲南・點蒼山の詩跡化」

李 夢旋（応用社会科学専攻2年・指導教員 黄孝春）

「華為の従業員特殊制度について」

劉 星佑（応用社会科学専攻2年・指導教員 森樹男）

「日本のアニメ産業の中国における市場拡大戦略」

当研究科の大学院生の研究活動や研究内容にご関心をお持ちの方は、お気軽にご参加ください。

※入場無料、事前の申込は不要です。

・問い合わせ先

弘前大学人文社会科学部 総務グループ教務担当

TEL：0172-39-3941

E-mail：jm3941@hirosaki-u.ac.jp

弘前大学COI特別講演会の開催のお知らせ

革新的イノベーション創出プログラム（COISTREAM）「認知症・生活習慣病研究とビッグデータ解析の融合による画期的な疾患予兆発見の仕組み構築と予防法の開発」の拠点研究を推進するにあたり、コホート研究の知見を深めること等を目的として、下記のとおり弘前大学COI特別講演会を開催します。

本講演会では、京都府立医科大学の竹中 洋学長をお招きして御講演いただきます。

皆様のご参加をお待ちしております。

弘前大学大学院
人文社会科学部 修士課程
Hirosaki University Graduate School of Humanities and Social Sciences

学生の就業手帳が、就職先企業まで届く

**修士論文中間報告会
(FD公開発表会)**

日時 2017年10月25日(水)14:30～(予定)

場所 人文社会科学部4階 視聴覚ルーム

～プログラム～

14:30 開会の辞

14:35～15:05

氏名 小笠原 ふじこ (文化科学専攻2年・指導教員 日比野愛子)

題目 コミュニケーションワークショップという場の特性

～インプロゲームを事例として～

15:10～15:40

氏名 笹 浩樹 (文化科学専攻2年・指導教員 荷見守義)

題目 楊慎と寫韻樓一明清における雲南・點蒼山の詩跡化一

15:45～16:15

氏名 李 夢旋 (応用社会科学専攻2年・指導教員 黄孝春)

題目 華為の従業員特殊制度について

16:20～16:50

氏名 劉 星佑 (応用社会科学専攻2年・指導教員 森樹男)

題目 日本のアニメ産業の中国における市場拡大戦略

主催：弘前大学大学院人文社会科学部

記

日 時：11月2日（木）15：00～16：00（受付開始 14:30から）

会 場：弘前大学大学院医学研究科 臨床小講義室

講 師：京都府立医科大学 学長 竹中 洋氏

演 題：AMEDにおける臨床研究の導出

詳 細：http://coi.hirosaki-u.ac.jp/web/news_detail.html?no=634

申 込：団体名・所属・役職・氏名を記載の上、下記メールアドレス
またはFAXまでご連絡ください。

※配布資料等の関係上、事前の申し込みをお願いしております。
※参加無料

<問合せ・申込み先>

弘前大学 COI研究推進機構

TEL：0172-39-5538 FAX：0172-39-5205

E-mail：coi_info@hirosaki-u.ac.jp HP：<http://coi.hirosaki-u.ac.jp>

第11回弘大病院がん診療市民公開講座開催のお知らせ

弘前大学医学部附属病院が主催で、一般市民を対象に公開講座を開催いたします。
肺がん、血液がんについて、専門家がそれぞれの立場から市民の皆様にわかりやすく講演いたします。講演後には質疑応答の時間を設けております。

1. 日 時	平成29年12月17日（日）13：00～15：30
2. 場 所	弘前市民会館 大会議室 弘前市大字下白銀町1番地6
3. 内 容	演題1 進歩する肺がん薬物療法～個別化治療，免疫療法を中心に～ 演題2 血液がんのいろいろ
4. 対 象	一般市民
5. 入 場 料	無料
6. 事前申込	不要
7. 問い合わせ先	弘前大学医学部附属病院がん相談支援センター TEL：0172-39-5174（直通）

「第17回青森糖質研究会」開催のお知らせ（再掲）

「青森糖質研究会」は、青森県の糖質科学研究の振興と教育の向上、さらに産業の発展に寄与することを目的として平成9年に発足し、産学官の研究者や技術者をはじめとする多くの人の交流・親睦を深める勉強会を開催するなど、諸活動を続けております。

平成29年度は「新発想と新技術が生み出す糖質利用の新たな展開」をテーマに5講演が行われます。

弘前大学COI特別講演会
AMEDにおける臨床研究の導出

2017.11.2 (THU) 15:00 - 16:00 (受付開始 14:30)

【主催】 弘前大学大学院医学研究科 臨床小講義室 (南の臨床研究棟303)

【講師】 京都府立医科大学 京都府立医科大学 学長 竹中 洋氏

【ご挨拶】
昭和49年 大阪医科大学卒業
平成11年4月 京都府立医科大学 附属臨床科学教室助教授
平成18年 大阪医科大学 附属科学部 教授
平成21～27年 大阪府立医科大学 学長
平成27年6月 弘前大学 学長
平成29年4月1日より京都府立医科大学 学長

【専門領域】
・1. 糖尿病のメカニズム・治療法の研究と予防並びに
大卒生計画化研究
・創薬開発の支援

どうぞお気軽に御参加下さい。一般の方・学生の参加も大歓迎です。

配布資料等の提供がございますので、参加を希望される方は、事前の申込
をお願いしております。
会社名または個人名・所属・役職・氏名を記入の上、メールまたはFAXを
お送りください。

【申し込み先・問い合わせ先】
弘前大学COI研究推進機構 Mail: coi_info@hirosaki-u.ac.jp
URL: <http://coi.hirosaki-u.ac.jp>
TEL: 0172-39-5538
FAX: 0172-39-5205

1. 日時：平成29年10月6日（金） 13：30～17：45（受付開始12：30～）

2. 会場：弘前大学創立60周年記念会館 コラボ弘大 8階 八甲田ホール
（〒036-8560 青森県弘前市文京町3番地）

3. 対象：一般市民、弘前大学学生・大学院生・教職員、
多数の参加をお待ちしております。

4. 講演：13：35～17：40

1) 基調講演「青森糖質研究会の20年を振り返って」
加藤 陽治（弘前大学 教育学部 食物学研究室）

2) 新技術紹介「天然物を利用した機能性材料の開発
—セルロースの燃料電池用電解質膜への応用—」
葛西 裕（（地独）青森県産業技術センター 工業総合研究所 新エネルギー技術部）

3) 「食品の網羅解析から見えてくる産業発展の糸口～青森短命県を打破する最強の手法～」
溝口 祥子（ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ（株））

4) 「セルロースを分解する酵素の基礎から応用まで」
野崎 功一（信州大学 学術研究院工学系）

5) 日本応用糖質科学会 技術開発賞受賞記念
「プラスチック成形と逆転の発想の融合により実現した米粉100%による製パン技術の開発」
西岡 昭博（山形大学大学院 有機材料システム研究科 有機材料システム専攻）

5. 参加費：無料

6. 主催：青森糖質研究会（会長 加藤 陽治）
共催：ひろさき産学官連携フォーラム，日本応用糖質科学会東北支部
後援：（公財）水谷糖質科学振興財団

7. 申込方法：下記問い合わせ先へお申し込みください。＊当日参加も歓迎いたします。

8. URL：<http://www.med.hirosaki-u.ac.jp/~biochel/aotouken/aotouken.htm>

※研究会終了後（18：00～20：00），弘前大学生協 レストラン・スクーラム（大学会館2階）にて
交流会を行います。当日参加も受け付けております。
（会費 一般：3,000円，学生：1,000円）

問い合わせ先：青森糖質研究会事務局
弘前大学大学院医学研究科 附属高度先進医学研究センター
糖鎖工学講座内 担当：柿崎 育子
電話：0172-39-5542
E-mail：kaki@hirosaki-u.ac.jp



弘前大学 研究・イノベーション推進機構 学術講演会
「科学を学ぶ～日本語と英語～」のお知らせ（再掲）

学術的に著名な識者を弘前大学に招き、学術講演会を開催することで、学内教職員の研鑽意識を高めるとともに、学生にレベルの高い学習機会を提供すること、また、学外へも広く周知し、地域

還元することを目的として下記のとおり弘前大学研究・イノベーション推進機構 学術講演会を開催します。

本講演会では、2000年ノーベル化学賞受賞 筑波大学名誉教授 白川英樹氏をお招きして御講演いただきます。

皆様のご参加をお待ちしております。

- 日 時：平成29年10月18日（水）10:30～12:00
- 会 場：弘前大学創立50周年記念会館 みちのくホール
（先着300名 ※要申込）
- 講 師：2000年ノーベル化学賞受賞
筑波大学名誉教授 白川 英樹 氏
- 演 題：「科学を学ぶ～日本語と英語～」
- 対 象：一般の方，教職員，学生
- 申 込：団体名・所属・役職・氏名を記載の上，
下記の電話番号またはメールアドレスまでご連絡ください。

■ 申込締切：平成29年10月10日（火）
（ただし、定員を超えた場合は申込みを締め切らせていただきます。）

■ 入場料：無料

【問い合わせ・申込み先】

弘前大学 研究・イノベーション推進機構

T E L：0172-39-3907

E-mail：kensui@hirosaki-u.ac.jp

H P：<http://www.innovation.hirosaki-u.ac.jp/>

弘前大学 研究・イノベーション推進機構 学術講演会

2000年ノーベル化学賞受賞 筑波大学名誉教授 白川英樹氏

演題 科学を学ぶ
～日本語と英語～

平成29年 10月18日（水）
10:30～12:00

弘前大学創立50周年記念会館 みちのくホール
先着300名 ※要申込 入場無料

白川 英樹（しらかわ ひろ樹）
専門：高分子化学、物性科学
1938年東京生まれ
東京工業大学工学部上
「導電性高分子の発見と開発」により、ノーベル化学賞を受賞

東京工業大学理工学部工学系、同大学大学院工学部材料科学専攻、工学博士、
東京工業大学助手、米国ペンシルベニア大学博士研究員を経て、筑波大学助教、同教授、
同大学大学院工学部教授、第三学部長を歴任し、2008年には筑波大学名誉教授となる。

2000年、「導電性高分子の発見と開発」に対して、ノーベル化学賞を受賞。その他、高分子
学会賞（1983年）、高分子科学功績賞（2008年）、文化勲章（2009年）、徳島県功
労賞など。

主な著書に「身体全面一振りアセチレンからグラファイトまで」(自由時報出版)／「化学増刊
27」(北学)に編者として、「(岩波新書)「私の夢んだらノーベル化学賞の発見」(朝日新聞社)
などがある。

＊申込：TEL 0172-39-3907 受付時間：平日 9:00～17:00
＊お問い合わせ：TEL 0172-39-3907 受付時間：平日 9:00～17:00
＊申込締切：平成29年10月10日（火）

弘前大学COIヘルシーエイジング・イノベーションフォーラム2017開催のお知らせ（再掲）

国立大学法人弘前大学と青森県、弘前市は、2017年10月20日（金）に、「弘前大学COIヘルシーエイジング・イノベーションフォーラム2017」を一橋講堂（東京都千代田区）で開催することとなりましたので、お知らせいたします。

本フォーラムでは、弘前大学COI拠点めざす「健やかに老いる社会」の実現と、ひいては国民の健康寿命延伸とQOL（生活の質）・GNH（幸福度）の向上をめざし、世界最大級の超多項目2000健康ビッグデータを活用したAI等、最先端研究成果等を紹介します。さらに、これらを活用した新たな健康産業創出・社会実装のあり方などを各界の第一線で活躍する産学官民関係者が結集して、熱く議論します。

●今回の目玉企画は、協和発酵バイオ株式会社 代表取締役社長 小谷近之氏をゲスト講師に迎えて行う特別講演です。「発酵技術で健康をイノベする（仮）」と題して、小谷社長にご講演いただきます。

●そして長野オリンピック金メダリスト 元スピードスケート選手 清水宏保氏 をゲストに「スポーツ医科学と健康（仮）」と題し、ご発表いただきます。

●昨年のフォーラムでも大好評を博した、著名な料理研究家 浜内千波先生に今回もご講演いただきます。題「健康で笑顔のある毎日は食生活から(仮)」。他にも盛りだくさんの内容でお送りいたします。ご期待ください。

文部科学省・JSTが実施する研究支援事業「COI(センター・オブ・イノベーション)」は、日本に真のイノベーションをもたらす国家的プロジェクトとして期待されています。

ご多忙とは存じますが、本フォーラムにご参加いただき、弘前大学COIのみならずCOI事業全体へのご理解を深めていただければ幸いです。

●お申込は、以下項目①～⑧をご記入の上、メールまたはFAXをお送りください。

- ①会社名・団体名
- ②TEL
- ③FAX
- ④E-mail
- ⑤部署名
- ⑥役職名
- ⑦参加者氏名(フリガナ)
- ⑧交流会(参加・不参加)

※交流会費は3,000円程度を予定。

※交流会の当日キャンセルは、キャンセル料が発生する場合がございます。ご了承ください。



送信先: COI研究推進機構 宛
 メール: coi_info@hirosaki-u.ac.jp
 FAX: 0172-39-5205

弘前大学大学院保健学研究科“福島災害医療セミナー in 弘前2017”開催のお知らせ(再掲)

弘前大学大学院保健学研究科 被ばく医療人材育成推進委員会 被ばく医療教育研修部門では、福島県立医科大学災害医療総合学習センター、青森県診療放射線技師会との共催による“福島災害医療セミナー in 弘前2017”を開催いたします。

被ばく医療への取り組みにおいては、福島の実情を知ることが重要とされますので、多数の方々にご参加いただき知識や理解を深めていただければと思います。

多数の皆さまのご参加をお待ちしております。

1. 開催期間: 平成 29 年 10 月 21 日(土)～10月22日(日)
2. 開催場所: 弘前大学大学院保健学研究科
(青森県弘前市本町66-1)
3. 募集人員: 医師, 診療放射線技師, 看護師等(20名程度) ※受講無料
4. プログラム:
 - ◆10月21日(土)
 - 13:00 - 13:50 ①福島の震災(50分)
 - 14:00 - 17:30 ②放射線の影響と現状(180分)
 - ◆10月22日(日)
 - 08:30 - 10:00 ③住民相談にどう臨むかを考えるグループワーク(90分)
 - 10:10 - 11:40 ④模擬相談演習(90分)
 - 11:50 - 13:00 ⑤リスコミ特論(70分)



※このほかe-learning による事前学習を受講していただけます。

5. 申し込み方法：

◆事前申込制となります。

下記の必要事項（①～④）を明記のうえ、Eメールにてお申込みください。

【申し込み先】 弘前大学保健学研究科 総務グループ 担当：桑田
kuwata@hirosaki-u.ac.jp

【必要事項】 ①氏名 ②氏名ふりがな ③所属機関 ④職種

【締め切り】 10月6日（金）

6. 共催： 福島県立医科大学 災害医療総合学習センター

青森県診療放射線技師会

弘前大学大学院保健学研究科 被ばく医療人材育成推進委員会

7. 問い合わせ先：

弘前大学保健学研究科 総務グループ 桑田

e-mail：kuwata@hirosaki-u.ac.jp Tel：0172-39-5518 Fax：0172-39-5912

**平成29年度 文部科学省「国際原子力人材育成イニシアティブ事業」
「看護職の原子力・放射線教育のためのトレーナーズトレーニング」開催のお知らせ（再掲）**

この研修は看護教育に係る教員に放射線の知識を深めていただくために開催するものです。将来的には患者さんや原子力・放射線災害時の被災者の方々と最も身近に係わる看護職に、放射線に関する知識・技術を修得していただくことを目的としています。講義とともに放射線測定器による計測や移動型エックス線撮影装置による被ばく線量を測定するなどの演習を行い、放射線を身近に分かりやすく理解できるようにしています。看護職の方も受講できます。

【日時】 ●第7回トレーナーズトレーニング
平成29年10月21日（土）、22日（日）

【場所】弘前大学大学院保健学研究科（青森県弘前市本町66番地1）

【テーマ】「看護職の原子力・放射線教育のためのトレーナーズトレーニング」

【対象】主に看護教育に係わる教育機関の先生方。看護職の方も受講できます。（先着20名）
※申込先着順で定員に達し次第、申し込み受付終了とさせていただきます。

【スケジュール】1日目：13時00分～17時30分

≪講義≫①放射線利用における看護職の役割

②原子力・放射線利用の概要及び放射線の基礎

③放射線による健康影響とリスク

※1日目終了後に参加者と指導者による情報交換会を予定しております。

2日目：9時00分～13時00分

≪実習≫①自然放射線の理解

放射線測定器を用いた放射線測定と霧箱による放射線の観察

②外部被ばくに対する防護方策

放射線防護の基本となる事項（時間、遮蔽、距離）

③移動型エックス線撮影装置の利用時の防護方策

撮影現場における線量の把握

注）予定時間より延びることがあります。あらかじめご了承ください。

【受講料】無料

「看護と放射線－放射線を正しく理解する」日本アイソトープ協会刊（2016）をテキストとして無料配布します。



【申込方法】Web参加登録 Eメールによる事前申し込みとなります。

●下記URLから申し込み手続きを行ってください。

公益社団法人日本アイソトープ協会 <http://www.jrias.or.jp/>

【主催】公益社団法人日本アイソトープ協会

【協賛】弘前大学大学院保健学研究科

*本事業は、公益社団法人日本アイソトープ協会が、文部科学省「国際原子力人材育成イニシアティブ事業（原子力人材育成等推進事業費補助金）」として3ヶ年計画（平成28年度～平成30年度）で実施しています。

【お問い合わせ先】弘前大学大学院保健学研究科 総務グループ（担当：柏村）

電話：0172-39-5518 E-mail：kashimura-a@hirosaki-u.ac.jp

**平成29年度 弘前大学大学院保健学研究科
市民公開講座「足の科学からみたスポーツ障害の予防」開催のお知らせ（再掲）**

足は万病のもとといわれます。スポーツでけがをしては、せっかく鍛えた成果を充分出せずに終わってしまいます。特に足はどのようなスポーツでも基本になるものです。そこで、足の機能や形態について科学的見地からスポーツ時の障害予防について講師がわかりやすく説明します。また、足の健康について実際に足部計測して相談にのります。皆様の多数のご参加をお待ちしております。

【日時】平成29年10月28日（土）10：00～11：30

【場所】弘前大学50周年記念会館
岩木ホールAB（弘前市文京町1）

【対象】一般市民，スポーツ指導者，運動部員，保護者等

【参加費】無料（事前申し込み不要）

【内容】講演「足の科学からみたスポーツ障害の予防」
講師：弘前大学大学院保健学研究科 教授 尾田 敦
足の健康相談コーナー

【主催】弘前大学大学院保健学研究科

【お問い合わせ先】

弘前大学大学院保健学研究科総務グループ

〒036-8564 青森県弘前市本町66-1

TEL：0172-39-5905 E-mail：jm5905@hirosaki-u.ac.jp



弘前大学資料館第16回企画展について（再掲）

弘前大学資料館では第16回企画展「白神山地の豊かな自然とその変化」を9月4日より10月21日まで開催いたします。

白神自然環境研究所のこれまでの調査研究で得られた標本や写真を元に、白神の豊かな自然を紹介したうえで、最近顕在化しつつある自然の変化を示し、自然保護の必要性、難しさ、あり方などを考える展示となります。みなさまのご来館をお待ちしております。

○弘前大学資料館第16回企画展 「白神山地の豊かな自然とその変化」

会 期：2017年9月4日（月）～ 10月21日（土）（日・祝・休日は休館）

時 間：10：00～16：00

場 所：弘前大学資料館

本件問い合わせ先 ・弘前大学資料館 電話：0172-39-3432
E-mail：jm3432@hirosaki-u.ac.jp
・弘前大学白神自然環境研究所 准教授 中村剛之
電話：0172-39-3707
E-mail：dhalma@hirosaki-u.ac.jp



学 内 掲 示 板

弘前大学出版会から新刊のご案内

理工学部機械科学科 編「機械科学科 基礎物理学実験の手引き（平成29年度版）」

（A4判，66頁，定価864円）（本体800円＋税【8%】）を出版しました。

～紹介文～

本書は、弘前大学理工学部機械科学科で開講されている基礎物理学実験の実験指導書である。自然科学や科学技術が高度に発達した現代社会において、科学技術者に求められる知識と能力はますます多様化しており、科学技術者を目指す学生には確かな基礎学力の修得が求められる。特に、大学で理工学を学ぶ学生にとって、自然科学の中で最も基礎的な学問である物理学を正しく理解しておくことは極めて重要である。本書は、実験・実習を通して、力学、熱学、電磁気学に関する物理学の基礎を修得するための資料を提供する。

受講の方は大学生協でお買い求め下さい。

学長オフィスアワー変更のお知らせ

学長と本学学生・教職員が直接対話する機会を設けるため、学長オフィスアワーを毎月第1金曜日及び第3木曜日に実施しておりますが、オフィスアワーの日程変更がありますのでお知らせいたします。

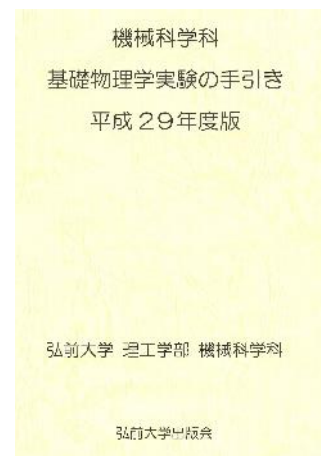
【中止】

平成29年10月6日（金）15：00～17：00

※10月は**10月19日（木）**のみの実施となります。

問い合わせ先：弘前大学総務部総務広報課（秘書室）TEL：0172-39-3004

URL：<http://www.hirosaki-u.ac.jp/information/about/president/officehour.html>



弘前大学がもっとわかる WEBマガジン『HIROMAGA（ヒロマガ）』創刊

弘前大学では、紙媒体による広報誌『ひろだい』を、平成29年3月をもって発行終了し、新たにWEBマガジン『HIROMAGA（ヒロマガ）』を創刊しました。

コンセプトは「もっと知りたい あんな弘大、こんな弘大」。

弘前大学の「今」をあらゆる方面から探求し、最新情報をいち早く発信します。写真や動画を活用し、弘前大学ならではの活動をピックアップするとともに、スマートホンユーザーにアピールし、インターネット交流サイト（SNS）による拡散や弘前大学公式ホームページへの誘導も促します。

『先生インタビュー』の第1回目に登場したのは、佐藤 敬 弘前大学長。秘蔵の写真と共に、その穏やかな人柄にクローズアップしています。『ひろだいLIFE』では学生カンパニー「Hirogress」の台湾でガイドブックを売り込むという実践活動を紹介しています。

これまで紙媒体では閲覧できる人の範囲が限られてきましたが、今後は誰でもアクセスできるようになり、幅広いPR効果が期待される。新しい記事は、随時公開する予定です。

WEBマガジン『HIROMAGA（ヒロマガ）』 <http://www.hiromaga.com/>



QRコードからも閲覧可能



国立大学協会情報誌「国立大学」について

本学が会員となっている「一般社団法人 国立大学協会」では、各国立大学の現状や優れた取り組みなどを分かりやすくまとめた国立大学協会情報誌「国立大学」を作成しています。

「国立大学第45号」では、「今、学生は！」において、本学・人文学部金融論ゼミ「日銀グランプリ」2年連続決勝進出の快挙が紹介されています。ぜひご覧ください。

（本学関連記事掲載）最新号「国立大学第45号」

<http://www.janu.jp/report/koho/45gou.html>

下記URLより最新号を含め、今まで発行されたバックナンバーをご覧ください。

<http://www.janu.jp/report/>

その他、第43号・第39号・第36号・第31号・第28号等において、本学記事が掲載されていますのでご覧ください。

編集担当から：講演会、研究発表会、部局行事等の掲載原稿を発行予定日（毎月1日と16日の2回）の7日程度前までに、下記担当にご提供ください。お待ちしております。

◎担当：総務部総務広報課 広報グループ

E-mail: jm3012@hirosaki-u.ac.jp FAX:37-6594 内線：3029